

2017年3月29日

日時:2017年3月29日(水) 15:30~16:45

場所:富谷市役所 3階 305会議室

参加者:富谷市総合計画審議会 委員 11名(別紙参照) 欠員 3名

:富谷市代表 7名

:事務局 5名

:オブザーバー(東北福祉大学学生) 1名

議事録

- 開会宣言
- 市長挨拶
 - 審議会の委員の皆様には、日頃から市政への御指導・御協力をいただき、特に28年度は、市制施行という大きな節目の中にあり、27年度から地方創生総合戦略の策定、市総合計画の策定に御尽力いただいたことに感謝申し上げます。
 - 29年度は、総合計画の本格的なスタートとなり、総合計画の推進に向けて、新たな機構改革を行うこととしている。
 - 今回お集まりいただいたのは、就任時から懸念事項とされていた旧役場庁舎の利活用問題について、地方創生拠点整備交付金を使って懸念されていた事項が解消されることとなった。このことによって、市の総合戦略の改訂が必要となったため、委員の皆様のお意見を頂戴したいという趣旨である。
 - 本格的な29年度の市のスタートに向けて、委員の皆様のお忌憚りの無いご意見を賜りたく、宜しくお願いしたい。
- 議事
 - (1) 富谷市地方創生総合戦略関係
 - ・「平成28年度取組状況について」
 - ・「富谷市地方創生総合戦略改訂について」を事務局より一括説明。
 - 実績値について意見を賜りたいが、16の指標のうち12で達成している。待機児童については、新しいまちには必然的に慢性的に待機児童が出てくる。人口増に伴って待機児童が発生するもので、約70人の待機児童が1年間で約30人減少しているといった視点から見てもらいたい。(草間会長)
 - 基本目標4の重要業績評価指標(KPI)のうち、「高齢者・障がい者交通支援事業」で交付しているICカード乗車証(とみぱす)の障がい者への交付率が16.3%となっているが、どのように分析されているか。どのようなかわりを持っていたのかお聞きしたい。(佐々木副会長)

- 本事業は初めての試みであり、万全の準備をもって望んだ。広報などを媒体にお知らせをしてきたが、特に障がいをお待ちの方は、その障がいの種類などによって、本事業に結びつかない方もいらっしゃると感じている。周知の面では反省すべき点もあり、次年度には広報のみならず、各種団体の総会などを通じて広く周知を図っていきたいと考えている。(保健福祉部長)
- 交流プラザのネーミングについてだが、市制施行によって、富谷のイメージがすごく変わってきている。目指すまちのイメージに合わせた名前を付けてはいかがか。(草間会長)
- マッチングについてだが、地銀のノウハウを生かした取り組みを広めてほしい。(草間会長)
- 今後の参考とさせていただきます。(事務局)

(2) 富谷市総合計画関係

- ・「富谷市総合計画前期基本計画について」
- ・「富谷市総合計画第1次実施計画について」を事務局より一括説明。

- 私たち審議会で作り上げたものが、予算上も担当課も反映されているということになるが、皆さんがこれまで発言していきただ中で、確認したい点があればお願いします。(草間会長)
- われわれが協議してきたことがよく反映されている。なおかつ、基本構想から前期基本計画、実施計画へと一貫通貫していて、ストーリー性があり、私としては感動している。(石井委員)
- スイーツの部分で、意見を言わせてもらったが、よく反映されている。今後実施に当たっても年度ごとにいろいろと出てくると思うが、よろしくお願ひしたい。(田中委員)
- 教育と子育ての部分に意見を述べてきたが、今は市の介護保険関係に携わっており、この1年は高齢者について考えてきた。高齢化率は高くなると言われているが、このヶ核のように、歳を重ねても人生は美しくなれるというようなプラスのイメージを持って、自分自身の人生も考えていきたい。(増田委員)
- うれしいことだが、この内容をこの期間で全部やって大丈夫なのかという思いもある。市民バスの乗り継ぎは難しいのかなと思っている。成田・明石台はなかなか機会がないが、イオンに乗り継ぎポイントが設置されるということで、今後も推移を見ていきたい。(平岡委員)
- 交流プラザの件ですが、いつ完成なのか。(大川委員)
- 平成29年度に着工・完成の予定です。(事務局)
- 駐車場の問題と「しんまち地区」の活性化の問題があるので、併せて考えていただければと思う。(大川委員)

- 雇用の場で貢献できたかなと思う。マッチングという面では、富谷産の野菜を仕入れることができたので、成功例のひとつとなると思う。(大川原委員)
- スイーツの駅整備事業は、平成31年度に完成するということでもいいのか。(佐藤委員)
- 実施計画は、平成31年度としているが、ローリングの中で期間が延びることもあります。(事務局)
- これからは若者を引き付けるまちづくりが大切である。大学の食品学科や特産品に結びつけた教育機関の誘致が必要となるのではないか。また、産業プラザは「しんまち地区」のシンボルとして、活性化を図ってほしい。「しんまち地区での新規店舗2件」は少ないかなという印象を持つ。力を入れて行ってほしい。(草野委員)
- 富谷という名前の発信力が強くなってきたという印象を持っている。富谷の子ども達が素晴らしい素質を持っているというのがよく分かる。素晴らしい素質に対し、計画と予算を付けてもらい、ありがたいと思っている。実践にあたっては、教員が子ども達を丁寧に育てていくということが計画を進めていくことに繋がるのではないかとと思っている。今後も新しい試みに取り組んでいきたい。(麻生川委員)
- さまざまな意見が出たので、事務局でも踏まえていただければと思う。(草間会長)

以上